かいもん山麓ふれあい公園の再整備に関する
マーケットサウンディング調査の結果概要

かいもん山麓ふれあい公園の再整備において，市場性の有無や，民間事業者がより参加しやすい公募条件などを把握・整理するために，民間事業者の皆様から様々な提案や意見をお聞きするマーケットサウンディング調査を実施しました。

本調査の結果をとりまとめましたので，その概要を公表します。

１　実施概要

(1) 調査対象

かいもん山麓ふれあい公園（指宿市開聞十町 2626 番地）

(2) 実施状況

実施項目	実施スケジュール	参加事業者数
個別対話	令和７年８月上旬～11 月中旬	２事業者 （県内１社，県外１社）

２　結果概要

個別対話を行った事業者から以下のような意見がありました。

- ３年間ほどの中長期計画のもとで，段階的に再整備を進めていくスケジュールが望ましい。収益モデルや民間活用の可能性を踏まえながら，優先度の高いエリアから順次整備を進める流れが適切である。
- 市が再整備を行い，民間事業者が管理運営を担う手法が現実的で実行可能性が高い。
- アウトドアショップやカフェの設置など，来訪者の潜在価値を高める機能の導入や，登山客・キャンプ客・イベント来場者など，目的の異なる来訪者に合わせた運営が必要。
- 平常時は観光・交流拠点として機能しつつ，災害時には避難・物資供給・情報発信などに対応できる防災拠点としての役割も併せもつ「持続可能な開聞岳エリアの中核拠点」として再整備していくことが望ましい。
- 事業初期の段階では，国の交付金等を原資とした助成制度の活用や，整備・運営に係る費用の一部支援の検討をお願いしたい。

その他，かいもん山麓ふれあい公園の再整備の手法等に対して，さまざまなアイデアやご提言をいただきました。

３　今後の予定

今回いただいたご提案やご意見を参考に，再整備や効率的な運営手法について検討を行っていきます。